

○ 装具

【装具】

<目的>

- ・変形の予防、変形の矯正、変形の保護、筋緊張の抑制、疼痛の軽減、損傷からの保護
- ・運動機能向上のための補助 例)抗重力筋や下肢骨の強化、循環機能の強化
- ・コミュニケーション手段や補助

【上肢装具】

《効果》

- ・手術局所の安静/保護 ・ 良肢位の保持
- ・拘縮や変形の予防/矯正 ・ 物をつまむ。
- ・不安定な関節の支持 ・ 筋や腱のバランス

《適応》

①上肢支持性が弱いために、肘を伸ばして体重を支持できない時

- ・肘サポーターが処方される。

※頸が座っていることが望ましい。

②極端に母指が内転している時

③肘が屈曲、回内している時

④食事の際、自助具を製作したり、食器台を斜めにしたりする。

例)スプーンやフォークの握りを太くする。

吸盤付きの皿をしようする。

⑤キーボードプロテクター

- ・透明なプラスチック板にキーの間隔に合わせて穴をあけた物

【体幹装具】

《効果》

- ・体幹の支持 ・ 体幹の動きの制限
- ・脊柱のアライメントを整える。

※装具装着により、体幹の運動の制限、体幹筋の筋力低下、関節拘縮、筋肉や靭帯の伸張性の低下が起こるため、可能な運動を同時に行う必要がある。

《適応》

①側彎の予防と矯正

※褥瘡の予防のため、硬性装具よりも、軟性装具を使用することが好まれることもある。

②立位装具

- ・体幹装具と下肢装具を組み合わせ、立位保持ができない子どもが立位を取れるようにする。

- ・体幹装具と歩行補助具を利用して、歩行練習を行う。

- ・体幹装具と立位保持装置を併用して、上肢を使用しやすくする。

【下肢装具】

《効果》

- ・歩行障がいの治療、代替手段
- ・骨折、関節疾患、手術局所の安静と保護

《適用》

①立位歩行の援助

- ・関節の不安定性、異常可動性の制御をする。
- ・筋力低下の補助をする。

②抗重力筋の強化や下肢骨の強化

③下肢にかかる体重の減少

《代表的な下肢装具》

①短下肢装具

- ・膝下(下腿部)から足底に及ぶ装具
- ・足関節、足部変形の予防/矯正、手術局所の保護

②長下肢装具

- ・膝上(大腿部)から足底に及ぶ装具
- ・足関節と膝関節の動きを制御する。

③膝装具

- ・大腿部から下腿部に及ぶ装具
- ・膝関節の動きを制御する。

【靴型装具】

《効果》

- ・変形の予防/矯正
- ・安定した立位姿勢
- ・立位歩行の安定
- ・疼痛のない圧力分散

《適応》

- ①関節炎後遺症(外傷、関節リウマチなど)
 - ・関節可動域の制限により疼痛の軽減や関節不安定の解消を図る。
- ②足関節強直
 - ・踏み返しの確保や脚長差/尖足の補正を図る。
- ③尖足
- ④外反/内反
- ⑤脚長差

【参考文献】

- ・脳性まひハンドブック 療育にたずさわる人のために
穂山富太郎 川口幸義 編著 医歯薬出版株式会社
- ・義肢装具のチェックポイント
日本整形外科学会 日本リハビリテーション医学会 医学書院
- ・障害児の医療・福祉・教育の手引き(医療編・教育編)
社会福祉法人 日本肢体不自由児協会